

# 地域力を活かし、11万市民のやさしさが溢れ 笑顔が輝く平和で豊かなまちづくり

本年度の主要施策

平成22年度 施政方針 概要版

第152回浦添市定例議会が2月23日から3月26日まで開催されました。  
市長は施政方針の中で「これからの市政は、先の変化を正確に見通すことはいうまでもなく、堅実な中にも果敢に取り組んでいかなければ新たな発展はないものと考え、地域力を基軸とし、確固たる決意をもって、諸施策を展開していく」と、表明しました。  
また、本市は7月1日に市制施行40周年を迎え、式典の開催をはじめとする様々な記念事業を実施してまいります。

## 万人でにぎわう生活創造都市

### ものづくり産業の促進

養蚕及び絹織物事業の生産拠点を整備し、絹糸・絹製品の量産化を図りながら、絹物の商品開発、養蚕及び流通業との連携を行い、県内外へ本市産織物の流通拡大を目指してまいります。



うらそえ織

また、蚕の飼育・餌となる桑畑の確保は、平成18年度より市において行ってまいりました

が、本年度から民間事業への移行を念頭に業務の委託等を行い、本市産業として定着、普及を促進してまいります。

### 農業・漁業の促進

都市型農業の確立につきましては、亜熱帯性気候の特性を利用した収益性の高い果樹、園芸作物を中心に、沖縄の野菜等の栽培についても積極的に支援してまいります。JAおきなわ浦添支店と協力して農産物展示会及び即売会を開催すること

により、農家の生産意欲の向上、及び農作物の販路拡大、また、農家の生活の安定、及び安全な食の供給促進に努めます。さらに休耕農地の解消、及び市民の農業体験や農業に対する理解を促進するために、市民農園の開園に向けて取り組んでまいります。沖縄の気候に適し、浦添市の地場産品となっている海ぶどう、及びクルマエビの養殖事業は、浦添宜野湾漁業協同組合の経営安定に資する重要な事業になっております。本年度も、エビ養殖場の水質浄化事業等へ水産業振興対策補助金を交付し、安定した養殖漁業の確立に努めます。

### 那覇港浦添ふ頭地区の整備促進

国際流通港湾を目指す那覇港では、国際コンテナターミナル運営事業が4年目を迎え、背後地のロジスティクスセンターの整備・運営事業を、PFIの手法を用いて平成23年の運営開始を目標として事業に取り組んでいくところです。本事業への取り組みは、那覇港の立地特性を活かした競争力のある国際流通港湾の実現に向けた着実な前進であり、本事業の運営開始により国際物流関連産業の新規立地が促進され、これに伴う雇用創出など、県経済への波及効果が大きいと期待できることから引き続き那覇港の整備を促進してまいります。

西海岸開発事業の第1ステージである臨港道路浦添線、及び都市機能用地につきましては、本年度中の埋立竣功を目指し取り組んでまいります。また第2、第3ステージにつきましても、地区の形成、及び高次の都市機能の集積により、21世紀における本市発展の大きなポテンシャルを有していることから整備の実現を図ってまいります。

### 跡地利用計画

牧港補給地区の跡地利用計画につきましても、本地区の返還スケジュールを見据えるなかで、地権者や市民及び関係機関との合意形成を図りつつ、実効性のある跡地利用計画を策定してまいります。本年度は、まちづくりの方向性を示した基本構想を踏まえ、基本計画の骨格となる主要都市施設の配置等の検討に取り組んでまいります。

### 浦添市総合計画の策定

平成13年度よりスタートした第三次浦添市総合計画は、平成22年度をもって10年間の計画期間が終了します。これを受けて、昨年度よりこれから10年先を展望し「第四次浦添市総合計画」の策定に取り組んでまいります。本計画は、これまでのまちづくりの成果の上に、さらなる平和で豊かな「浦添」を実現するための指針として本年度内に策定してまいります。

### ほかに

○東京ヤクルトスワローズ浦添キャンプを引き続き支援。例年実施している神宮

球場浦添デーを開催し「浦添」をアピールするともに、地場産品等の販路拡大に努める。  
○IT化に対応した電子自治体の実現に向けて第五次総合福祉システムを構築し、業務及びシステムの効率化とセキュリティの向上による安心・安全な行政サービスを提供



生涯学習の推進  
昨年度開学した「てだこ市民大学」から、本年度は第一期の卒業生を輩出することになります。てだこ市民大学で学んだ学習成果を、これからのまちづくりの担い手の一人として、地域社会に還元できる人材の育成を推進してまいります。  
また、家庭の教育力の活性化を図るための事業展開と、浦添市で「だこ学園大学院の運営や、中央公民館等社会教育施設における各種講座の開設により、生涯学習活動の充実を図ってまいります。

### 学力の向上

学力向上事業として、「夢・にぬふあ星プランII」の学力向上対策が全県で取り組まれています。市独自の取り組みも充実させながら、幼児児童生徒の学力向上に努めてまいります。  
英語教育については、小中連携した児童生徒の発達段階に応じた指導方法の工夫改善を図ってまいります。また、国際理解教育の推進の一環として中学生海外短期留学派遣事業等の充実を図ってまいります。

特別支援教育では、小中学校へ特別支援教育ヘルパーを派遣し、児童、生徒への支援の充実を図っておりますが、本年度はヘルパーを増員し、通常学級に在籍する発達障害児や気にかかる児童生徒の支援の充実など、保護者及び関係機関と連携し、特別支援教育の体制整備に取り組んでまいります。

### 教育施設の整備充実

教育施設の整備につきましては、良好な学習環境の確保のため本年度は「仲西小学校屋内運動場改築事業」また継続事業として、「当山小学校

## 未来へはばたく 交流文化都市

